

第2期 白馬村子ども・子育て支援事業計画 基本理念と基本方針（案）

第2期計画の策定にあたり、子ども・子育て会議委員から、基本理念のテーマと基本方針の視点・ポイントを提案していただき、基本理念のテーマに用いられるフレーズはおおむね次の通りに集約されます。

○理念の参考フレーズ

子ども すべての子ども 親 子育て 子育て支援 寄り添う 心通わせ 連携 安心
 楽しむ 愛される 輝く 生き生き 可能性 豊かに 優しい 笑顔 笑顔あふれる
 宝物 未来 自然 地域 白馬 白馬村

第1期計画の基本理念のテーマ『子どもたちの幸せ育てる白馬村』との大きな違いは、子育て支援が、健やかな子どもを育てるための支援に留まらず、子育てをする親への視点や、子どもと保護者が共に成長する視点、また、子育て支援の諸施策やその結果が、白馬村を成長することにつながるといった意見が多く提案いただきました。

そこで、これらのご提案を踏まえまして、第2期計画の理念と基本方針を次の通りとさせていただきます。

第3章 計画の基本理念と施策

1. 基本理念

心通わせ 子どもも親も生き生きと輝く 白馬の子育て

子どもたちが健やかに成長し、生き生きと輝くことは、村民共通の願いです。子どもたちの輝きは、家庭や地域の輝きへとつながり、村民一人ひとりが笑顔に満ちあふれ、ひかり輝く白馬村をめざします。

子どもは地域の宝であり、未来を創る存在です。次代を担う子どもたちを豊かに健やかに育むことは、子ども自身や保護者のみならず、地域にとって最も価値のある役割であり、使命でもあります。

地域社会全体で、子育て中の保護者の気持ちを受け止め、寄り添い、保護者が子育てに対する不安や負担、孤立感を和らげることを通じて、子どもの成長に喜びや生きがいを感じ、子育てに夢や希望を持てるようにすることが大切です。

2. 基本方針

子育て支援とは、村民、教育・保育関係者、企業・団体、行政、その他の社会のあらゆる分野が保護者に寄り添い、子育てに対する不安や負担を和らげ、保護者としての成長を支援することです。

子どもが心身共に健やかに成長することについての第一義的責任は保護者が有するという基本的認識のもとに、親子に対する見守りと育みの心を持って、それぞれの役割を果たしながら協働のもとで子育て支援を推進し、保護者自身が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じる事が重要です。

そして何より、子どもの最善の利益を実現すること、子ども自身の育つ力を最大限に生かし、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる環境をつくる事が、地域の役割であり、子どもの健やかな育ちを保障することは社会全体の責務です。